

アゼルバイジャンのピアニスト サファロバ グルナラプレゼンツ

Azerbaijani Pianist

Gulnara Safarova

presents



時空

を超えるクラシック音楽 vol.1

アゼルバイジャンから世界へ

Classical Music Beyond Time and Space, Vol.1

From Azerbaijan to the World

soloist



奈良康佑 (Piano)
Kosuke Nara

soloist



加藤大聖 (Bartitone)
Talsho Kato



杉浦清美 (Violin)
Kiyomi Suglura



片野可八子 (violin)
Kayako Katano



霜島恵 (Viola)
Megumi Shimojima



太田有子 (Cello)
Yuko Ohta



佐藤文俊 (Contrabass)
Fumitoshi Sato



箕輪健太 (Conductor)
Kenta Minowa



笠松泰弘 (Composer)
Yasuhiro Kasamatsu



東大輔 (Flute)
Dalsuke Azuma



河村忍 (MC)
Shinobu Kawamura



高橋ののか (Piano)
Nonoka Takahashi

ガラーエフ : 弦楽四重奏曲・ソナチネ
(Garayev) バイオリンソナタ・プレリュード

アミロフ : 僕のお花
(Amirov)

バダルベイリ : アヴェマリア
(Badalbeyli)

ショパン : マズルカ 変ロ長調 Op.24 No.4
(Chopin) バラード第4番 へ短調 Op.52

ラフマニノフ : 六つの小品より (ピアノ連弾)
(Rachmaninoff)

トスティ : lo ti sento
(Tosti)

フランセ : 宮廷の音楽
(Françalx)

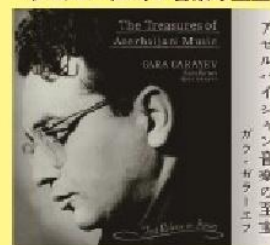
越谷達之助 : 初恋
(Tatsunosuke Koshigaya)

滝廉太郎 : 荒城の月
(Rentaro Taki)

笠松泰洋 : オリオン五重奏
(Yasuhiro Kasamatsu)

平井康三郎 : 九十九里浜
(Kozaburo Hirai)

CDリリース!
「アゼルバイジャン音楽の至宝」



「チケット購入・お問い合わせ」



Teket (チケット)

上記QRコードよりお申し込みください
<https://teket.jp/16700/61849>

2026.7.25.sat 13時開演 (12時半開場)

めぐろパーシモンホール (大ホール)
Meguro Persimon Hall

全席自由

(個別電子チケットのみ)

一般 : 2900円 / 5000円 (CD付)

小学生以下 : 1500円

目黒区民の方 : 800円 / 2900円 (CD付)

*当日、目黒区民であることを証明できるものを持参ください。

主催 : Ongakunole (音楽の家) tel.080 5191 1971

後援 : Meguro-ku ・ Embassy of the Republic of Azerbaijan to Japan

Zen-On Music Company ・ KAWAI Sendai・Zama International Association

サポート : State Committee on Work with
Diaspora of the Republik of Azerbaijan



先着 50名の3歳〜15歳の方は無料。電話にてお申し込み込みください

080-5191-1971

Profile



サファロバ グルナラ(Piano) Gulnara Safarova

アゼルバイジャン人ピアニスト。音楽教育博士、ピアノ専科助教授の学位を取得。アンタルヤ国際コンクール入賞。ピアノを、ロシアのモスクワ音楽院の教授Alexander Goldenweiserの弟子にあるM.ピラリシュヴィリ氏と、Yakov Milsteynの弟子にあるO.アバスクリエフ氏に、室内楽をロストロポーウィチに師事する。2008年より日本在住。ピアノリサイタルなどを行う。ヨーロッパピアノ国際コンクールJapan、日本クラシック音楽コンクール審査員。東海大学教養学部芸術学科音楽学課程より招聘され、演奏会とレッスンをを行う。2018年、「音楽の家」インターナショナルスクール創設。全音楽譜出版にてアゼルバイジャン作曲家、ガラ・ガラーエフの楽譜出版に協力し、「ピアノ作品集」の解説を執筆。2025年1月にアゼルバイジャン共和国大統領より、アゼルバイジャン文化の普及に貢献したとして勲章を授与された。



奈良康佑(Piano) Kosuke Nara

ブリュッセル王立音楽院首席卒業。マリア・カラス国際音楽コンクールディプロム受賞。1989年より同音楽院講師を務める傍ら、ベルギー、フランスで演奏活動。1995年国際交流基金派遣で中南米を演奏旅行。ウルグアイの新聞紙上で絶賛される。NHK・FM「名曲リサイタル」に出演。ニコル・アンリオ＝シュヴァイツァー、小林早苗、安川加壽子の各氏に師事する。昭和音楽大学および東海大学講師。



加藤大聖(Baritone) Taisho Kato

神奈川県立相模大野高等学校(現相模原中等教育学校)、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。これまでに篠崎義昭、福島明也、牧野正人、甲斐栄次郎の各氏に師事。イタリア・ミラノにてG.ロルミ、B.D.モンテの両氏のもとで研鑽を積む。自身の演奏活動の傍ら合唱指揮者としても活躍している。相模原音楽高等学校音楽科及び相模原中等教育学校音楽科非常勤講師。相模原市音楽家協会おとの会会長。大和市音楽家協会会長。



杉浦清美(Violin) Kiyomi Sugiura

京都市立京都堀川音楽高校を経て、東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。現在様々なスタイルのコンサート、ライブに参加している。後進の指導にも携わる。ヴァイオリンデュオ「DUVIO」は2020年「二弦の私季」をRelease。配信LIVE、リアルコンサート等勢力的に活動。これまでに木村和代、亀田美佐子、田淵洋子、浦川宣也、故山岡耕祐の各氏に師事。大和市音楽家協会会員、県央音楽家協会会員。



片野可八子(violin) Kayako Katano

東京藝術大学卒業。在学中に神奈川ハーモニー管弦楽団のオーディションに合格し、8年間在籍する。その後もソリスト、室内楽奏者、オーケストラ奏者として演奏活動を行いながら後進の育成にも力を入れており、相模原市民文化財団主催ジュニアのための弦楽アンサンブルワークショップでは講師をつとめている。福岡県教育委員会賞受賞。



霜島恵(Viola) Megumi Shimojima

国立音楽大学器楽学科ヴァイオリン専攻卒業。森乙人、中村泉の各氏に師事。卒業後は中学校音楽科教員として勤務の傍ら、ヴァイオリン、ヴィオラ奏者として活動を続け、地域を中心にオーケストラ、アンサンブル等で多くの演奏会に出演した。また、アマチュア団体の指導や福祉施設等への訪問演奏なども積極的に行ってきた。令和5年度より母校国立音楽大学神奈川同調会(同窓会の神奈川支部)の会長を務める。



太田有子(Cello) Yuko Ohta

横浜市出身。チェリストの母の指導でレッスンを開始する。早稲田大学交響楽団で首席奏者を務める。カントゥス弦楽四重奏団メンバーによる室内楽ワークショップ、ACTセミナー、秋吉台音楽セミナー等に参加。丸山泰雄氏に師事。横浜市民広間演奏会オーディションに合格、ロビーコンサート、定期演奏会等に出演。現在、ピアノトリオ、弦楽カルテット等の室内楽活動を行っている。



佐藤文俊(Contrabass) Fumitoshi Sato

昭和音楽大学器楽学科 コントラバス専攻卒業。コントラバスを松野茂、村上満志、吉見雄二に、室内楽を菅野博文、吉見雄二の各氏に師事。現在、室内楽、オーケストラを中心に活躍中。2020年 神奈川県民ホールにおいて、日本初演アゼルバイジャン作品を演奏する。2023年 フルート、ピアノ、コントラバスの編成による演奏会を開催し、好評を博す。



東大輔(Flute) Daisuke Azuma

12歳よりフルートを始める。フルートを木下延英、西畑正美に師事。ニース音楽アカデミーにてディプロマ取得。フランスのマスタークラスにてフランソワ・ロラン、アンドラシュ・アドリアンらに師事。室内楽をマルグリット・フランスに師事。また、ルネサンス、バロック時代のフルートを前田リリ子に師事。現在、フルートソロリサイタル、室内楽、オペラなどで活躍する。バロックから20世紀の音楽まで幅広いレパートリーで様々な演奏会に出演する。神奈川県音楽家協会会員。大和国際オペラ協会会員。



箕輪健太(Conductor) Kenta Minowa

国立音楽大学音楽学部卒業。同大学卒業と同時に東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務め、飯守泰次郎、矢崎彦太郎両氏の下、研鑽を積み、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の主要演奏会に出演。彼の持ち味は器乐的に整理された端正な音楽作りはもちろんのこと、声楽曲のレパートリーも広く、演奏家の最大限の能力を発揮させるテクニックが器楽演奏家、声楽家から絶大な信頼がある。国立音楽院指導講師、やまと国際オペラ協会会員、日本音楽集団団員。



笠松泰弘(Composer) Yasuhiro Kasamatsu

1960年福井市生まれ。東京大学文学部美学芸術学科卒業。作曲を三善晃、ピアノをゴールドベルク山根美代子に師事。室内楽、オペラ、ミュージカル、演劇、ダンス、映像の音楽までジャンルを超えて作曲。平成30年度文化庁文化交流使。オペラ「人魚姫」は24年ウクライナのリヴィウ・ナショナルオペラで上演され、劇場のレパートリーとなる。明日香村伎楽団、所沢雅の会の音楽監督として、多くの人が参加できる音楽のあり方の提言もしている。



河村忍(MC) Shinobu Kawamura

国立音楽大学ピアノ科卒。リトミック、音楽療法にも興味を持ち、学校、幼稚園、病院、介護施設等でニーズに合わせたコンサートの企画及び演奏を行っている。ソロ活動の他、器楽アンサンブル、オペラ、ミュージカルのピアニストとして活動。「生涯音楽を楽しむ」をテーマに幼児から高齢者まで通えるピアノ教室を主宰。



高橋ののか 14歳(Piano) Nonoka Takahashi

5歳でピアノを始める。「音楽の家」インターナショナル音楽スクールでサファロバ・グルナラに師事。2021年 第31回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。2022年第24回日本演奏家コンクール入選。2025年ガラ・ガラーエフ作曲「ピアノのためのソナチネ」を日本初演。

Ticket

「チケット購入・お問い合わせ」



TekeT(テケト)

上記QRコードよりお申し込みください
<https://teket.jp/16700/61849>

Access

